

ご議論いただきたい論点

- ・ 2009年の原子力委員会における指摘についての技術的進展がどの程度あるか。現時点において、技術的課題がどこにあるか。
- ・ シミュレーション技術等他分野の科学技術の進展を踏まえ、取り入れるべき点はあるか。
- ・ 国際状況や高速炉サイクルを含む原子力関連政策の現状を踏まえ、ADSの見通しに変化はあるか。
- ・ 限られた予算の中で、集中的に取り組むべき技術開発課題はあるか。当面の目標をどこに設定するか。
- ・ 上記を踏まえ、整備予定のJ-PARC核変換施設に見直すべき点はあるか。
- ・ ADSを実現するにあたって、長期的な視点でどのような取組が必要か。経済性、社会的受容性、産業界との連携、基礎研究、共通基盤技術の充実についてどのように考えるか。

○次回以降、ヒアリングを実施し、これらの論点について整理し、群分離・核変換技術に関する今後の進め方について、一定の方向性を得る。

<今後のスケジュール>

- ・ 9月3日（第2回） 今後の研究開発、核変換実験施設について関係者からヒアリング
- ・ 9月～10月（第3回） 今後の方向性のとりまとめ